



ないとう きくえい
内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団



市が考える赤羽根福祉センターの課題は

施設の活用方法と機能統合及び大規模改修を含めた老朽化対策

赤羽根福祉センターの在り方について

- 問** 市が考える赤羽根福祉センターの現状と課題は。
- 答** 現在、赤羽根福祉センターは地域の障害・介護・医療の拠点となっている。その他、施設内の会議室等は各種の会合や地域のグループ活動等に利用されている。その会議室等の活用方法及び機能統合、また、施設の大規模改修を含めた老朽化対策が課題となっている。
- 問** 当施設は田原市における東西の中間地点に位置し、市全体を活動範囲として事業拠点とするのに適していると思うが、そのような考えはあるのか。
- 答** 民間需要も含めた市全体の状況を踏まえて検討する。
- 問** 今後も当施設の中で、介護予防教室等の活動の開催を継続していくのか。
- 答** 利用者の意見も伺いながら、介護予防教室の開催を考えていく。

- 問** 旧赤羽根町区域における介護保険のデイサービスセンターの必要性について、市の考えは。
- 答** 現状デイサービスセンターが1施設のみの旧赤羽根町区域においては、今後も介護保険のデイサービスセンターは必要であると考えている。
- 問** 旧赤羽根町が地域の要望に応え、介護保険制度開始前からデイサービスを開いたという当初の経緯と、旧赤羽根町区域内の唯一のデイサービスであるという現状を踏まえ、今後赤羽根デイサービスセンターの事業継続について、市の考えを問う。
- 答** これまでと同様に、赤羽根デイサービスセンターは社会福祉法人福寿園に事業継続していただく考えである。



- 問** 民間の団体や組織が主体となって運営する場合には、市としての人的・財政的な支援を行う考えはあるのか。
- 答** 提案内容や段階に応じて、既存制度の活用を含め、適切な支援を検討していく。
- 問** 子ども・若者に対し、意見を表明する機会への参加意欲を確認するアンケートを実施する考えはあるのか。
- 答** 今後、計画づくりなどでアンケートを実施する機会があるので、その際に実施を検討する。

